

「知ってますか？施設での暮らし」

～あなたにもできるボランティア活動～

川崎授産学園 市民交流事業 佐藤 恵

川崎授産学園（以下、学園）は、毎年、地域住民・市民を対象に、知的障害のある方へのボランティア養成講座を開催しています。これまでご参加いただいた方の中には、講座をきっかけに現在も当学園のボランティアとして長く関わり続けてくださっている方もいらっしゃいます。今年度は、大正大学人間学部社会福祉学科教授であり社会福祉士としてご活躍されている沖倉智美先生を講師にお迎えし、①講義②ボランティア実践体験③講義の3段階構成で実施いたしました。



①講義『知っていますか？施設での暮らし① ～施設モニターの経験から～』

タイトルにもあるようにご利用の方が施設でどのように過ごされているか“施設での暮らし”を知っていただく為に、まずは講師の先生も含め全員で川崎授産学園の施設見学を行ってから講義に入りました。講義が始まるなり「私は、施設でくらしています」と沖倉先生からの一言。驚かれた方が多いと思われそうですが、沖倉先生は「(知的障害者)施設に数日間ショートステイし、ご利用者と類似体験(モニター活動)を通じて、職員の支援を見守る、施設でくらされているご利用者の生の声を聴き、苦情解決等につなげる等」の活動をされています。常に当事者視点に立って物事を考えるという沖倉先生の研究スタイルなのです。

②ボランティア実践体験

(体操活動、折り紙活動、スポンジテニス活動※ 1つ以上選択)

受講者の方々には、学園のご利用者が日頃からボランティアさんを行っている活動プログラムに参加していただきました。※スポンジテニスの体験は都合により中止となりました。

<折り紙活動の補助>



<体操活動の補助>



③講義『知っていますか？施設での暮らし③ ～生活を護り、希望を実現するために～』

「焼いたパンが食べたい」

沖倉先生の障害者施設モニター活動の中で、ある施設のご利用者が「焼いたパンが食べたい」と話されたそうです。“焼いたパン”を食べるのは、日常生活ではごく普通なことだと思いませんか？しかし、施設によってはご利用者が“焼いた(温かい)パン”を食べることができない(提供されない)現実もあるようです。ご利用者の中には自分の想いを訴えることが苦手な(訴え方がわからない)方もいると思います。どうすればご利用者の希望を実現できるのか。沖倉先生はモニター活動を通じて、ご利用者と一緒に悩み・考え、その方がくらしている施設に改善を求め、ご利用者の生活の質(サービス)の向上に努めておられます。「焼いたパン」について、その施設では、嬉しいことにご利用者・先生の努力が実り「焼いた(温かい)パン」が食べられるようになったそうです！



～あなたにもできるボランティア活動～

ボランティアを始めたいと思っている方へ…

『自分ができることから、出来る範囲で、無理なく始めてはいかがですか…』

『そして、無理なく続けることが大切です』

他、講義の中では「ボランティアの方にもモニターになっていただきたい」とのお話がありました。ご利用者の立場となり支援にあたるのは職員として大事な姿勢ですが、是非ボランティアの方にもご利用者の立場になってご利用者と関わって欲しい、そして、ご利用者の話を色々聴いて欲しいとのことでした。また、ボランティアがいることをご利用者が職員以外の人に話せる環境ができる、それは施設の風通しの良さにも繋がっていくとのことでした。

<講座を受講された方からの感想>

- ・沖倉先生は施設モニター活動を20年近くもされてきたことへの驚きと同時に、その中から見えてきた数々のお話は、とても興味深く勉強させられたり考えさせられたりしました。障害者とどう向き合うのか、利用者の立場になって考えるという基本姿勢はボランティアを始める上でとても重要な事と思いました。
- ・ボランティアはやってみたいという気持ちから始まり、出来ることから無理なく始める。この講座を機に出来ることから無理ない程度から始めようと思いました。徐々に進めてゆき、そして、相手が求めていることに応じられるボランティア要員になろうと思いました。
- ・「ボランティアも利用者サイドに一番に立って考える事」をモットーに今後も努力していきたい。
- ・利用者さんと共にある徹底的に同じところにいる目線、そういう感じ方、考え方を大切にしていきたい。
- ・ボランティアに参加した際、上手いかなかったことが多く悩んでいましたが、1回参加しただけではわからないことがあるという話から、今後も参加したいと思えるきっかけになりました。
- ・施設をより知ることができた。沖倉先生のモニター、実際の経験・体験に基づいた話は、利用者さんの気持ちが伝わってくるようで、気づかされるが多かった。今後のボランティア活動に生かそうと思う。
- ・何より利用者さんの心を大事にしていきたい。一緒にその場に「いる」ことが大事なんですね。

沖倉先生、受講者の皆さん、貴重なお時間をありがとうございました

※ボランティア希望の方 下記へお問い合わせください。社会福祉法人セイワ 川崎授産学園

〒215-0001 川崎市麻生区細山1209番地 TEL 044-954-5011(代) FAX 044-954-6463